

公益社団法人

日本造園学会関東支部

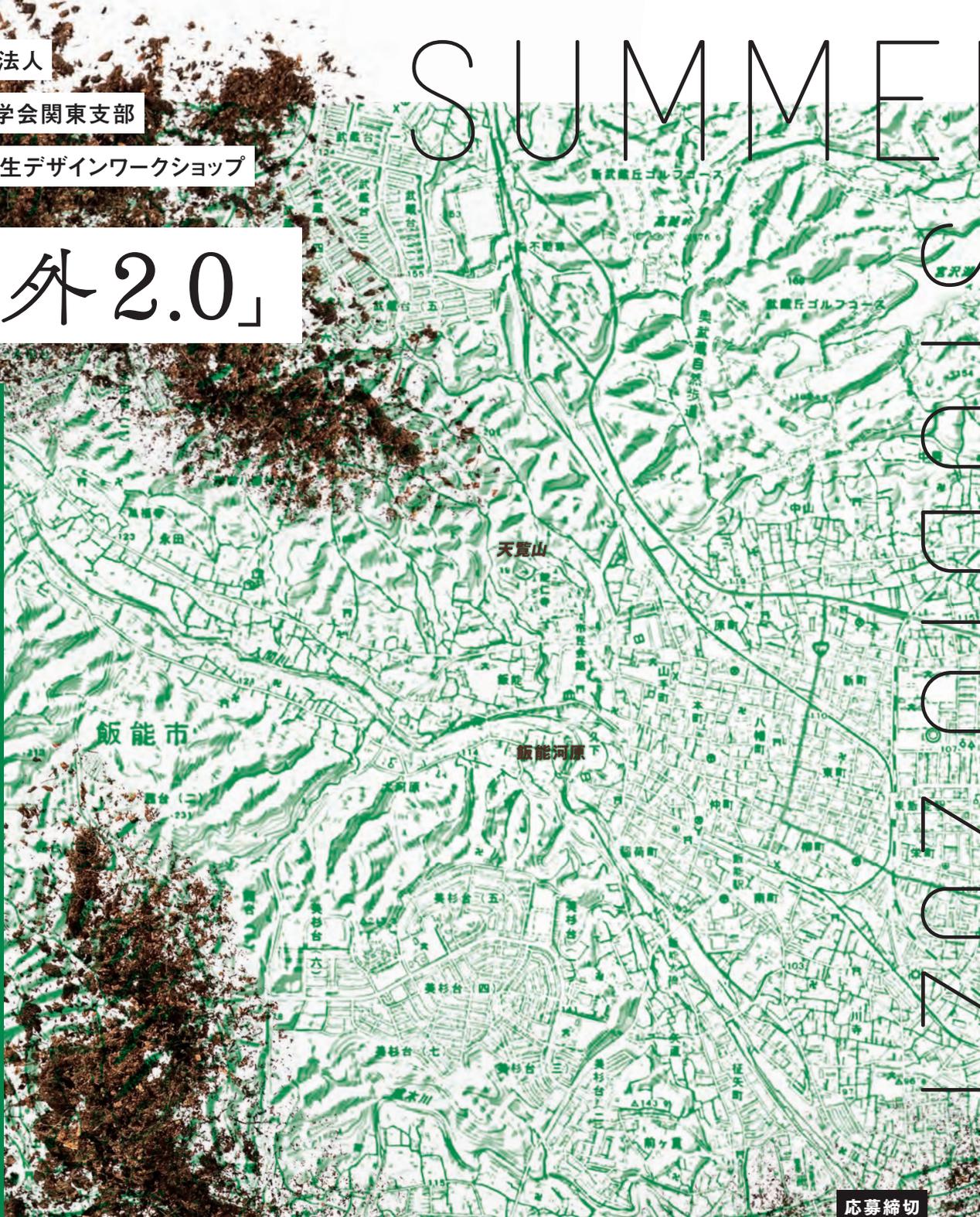
第17回学生デザインワークショップ

SUMMER

「郊外2.0」

STUDY

森林文化都市・飯能の 新たな暮らしを提案し、



応募締切

8/13 Fri

山・川・街の結び目をつくる

ゲスト

田嶋豊 (株)ランドスケープデザイン

崎谷浩一郎 EAU

樫村美実 TERRAIN architects

スケジュール

9/4 キックオフMTG (ZOOM)

9/5 - 9/10 プレサード期間

9/11 - 9/19 ワーキング期間



学生応募フォーム

STUDIO 2021

サマースタジオとは

学生デザインワークショップ-サマースタジオは、公益社団法人 日本造園学会関東支部が主催する教育プログラムです。2005年に始まり、今年で17回目を迎えます。これまで造園に限らず様々な大学(23大学)から約420人の学生が参加しています。(2020年:学生24名、チューター10名)

テーマ

「郊外2.0」

対象地 埼玉県飯能市、飯能河原から天覧山までの地域

森林文化都市・飯能の新たな暮らしを提案し、

山・川・街の結び目をつくる

新型コロナウイルスの影響により、東京都心から離れた郊外の街が目立っています。移住、二拠点居住、マイクロツーリズム(観光)、そして半農ライフなど、これは今年の舞台となる飯能市で見られる新たなニーズと人の動きです。飯能市は、「森林文化都市宣言」を掲げるように、江戸時代から林業により発展した歴史・文化が豊かな街です。現在でも中心市街地と森林が近接し、街はウォークアブルな心地よいスケール感でまつまっています。近年は、シェアアトリエやシェアオフィスなど若者や来街者が集まる場所の実践が行われ、新たなまちづくりの種が散りばめられた可能性豊かな街です。しかし、他の地方自治体と同様に、少子高齢化や厳しい財政状況、公共施設の老朽化などの社会課題を抱えて

います。街の重要な産業となる観光は、登山と山間部の郊外型レジャー施設の二極化が進み、市街地を訪れる観光客は多くありません。さらに、飯能河原は夏場の偏ったレジャー利用が課題となっており、「川」により「山」と「街」が分断されてしまっているように感じられます。今後は、これらの豊かな環境資源を活かし、現代の社会変化に対応した街づくりが求められています。そこで、2021年のサマスタは、河岸段丘上に位置し、立地環境や歴史文化的な側面において街の中心と感じられる「飯能河原から天覧山までの地域」を提案対象地とします。敷地内に点在する老朽化した公共施設の再整備と、新たなニーズや社会変化に応える公共施設の再編をきっかけとして、山・川・街の結び目となる街の新たな拠点を模索し、今後50年を見据えた、森林文化都市・飯能の新たな暮らし「郊外2.0」を提案します。

目的

幅広い分野の知見を集め、理念を具体的な都市改善の動きにつなげる実践的な提案を行う。提案をまとめるプロセスにおいて、様々な分野(造園・建築・都市計画・土木・観光・健康・体育・社会・経済・経営・教育など)の学生が分野の枠を超えた議論を通じ、社会に対し新たな可能性を持つ提案を発信する。学生は社会人チューター(計画・設計実務者)と共に課題に取り組み。また、期中では様々な専門家(教育行政、計画・設計実務者など)からも指導・助言を頂く。

上記の活動により、社会課題に対し幅広い視野を持つ取り組み、社会に対し説得力のある提案を行うことのできる将来を担う人材育成の一助とする。

スケジュール

8/13	応募締切 ※新型コロナウイルスの影響による開催の可否はこの時点で判断します。
9/4	キックオフMTG【会場：ZOOM】 ゲストによる話題提供
9/5-9/10	プレサバペイ期間 グループごとにワークショップに向けての準備作業
9/11-9/19	ワーキング期間 コアワーキング① 9/11・12 コアワーキング② 9/18・19 【会場：飯能市民活動センター】 グループに分かれ案をつくり、最終日に成果発表・上記ゲストによる審査を行います。
10-11月	日本造園学会関東支部大会にて発表 ※各作業は、各チームチューター指導の下、チームメンバーの予定を調整して行うこと。
12月末	成果まとめ本を最終とりまとめ冊子化して、配布・HPアップ(有志チーム作業)

運営

チーム編成

5人程度/チーム、5~6グループ程度を編成予定。
様々な専攻分野の学生メンバーによるチームワークを通じて、創造的な共創を目指す。

チューター制度

ランドスケープ計画・設計実務者を中心に、学生の指導・助言を行う。
チューターは各グループに2人付く予定。
会期中に様々な専門家の方にも指導・助言を頂く。

※新型コロナウイルスの影響により、1つの会場に集めたワークショップを開催できない場合は、web会議システムなどを利用したリモート開催も検討中です。
リモート開催の場合は、詳細を応募者へご連絡します。

応募資格・条件

大学 学部生・大学院生・研究生(学校・学部・学年・居住地域は問いません)

キックオフミーティング・プレサバペイ・ワークショップ・支部大会への参加を必要とする。

申し込み先 |

下記の造園学会関東支部HPより

<https://www.kanto.jila-zouen.org/designws/designws-index.htm>

「下記の情報とレポートを

Google(表面QRコードよりアクセス)フォームにて担当事務局へ送付 |

1) 学校・学部・学年・氏名・Eメールアドレス(PC用が望ましい)

2) 以下に対する意見レポートをPDFデータにて提出(a:500字程度 b:200字程度)

a. 今回のテーマに対するアイデア b. 学生デザインワークショップへの参加動機

3) 各自の得意分野、興味ある分野のアピール(自由になるべく多く書く)

ex) プレゼン資料作成スキル(手書きスケッチのスキル、CAD・フォトショップ・イラストレーターなどのソフトを使いこなすスキル)、コンセプトやストーリー立案スキル、ワークショップでのファシリテーション能力、植物、生態学、観光、スポーツ など

定員 |

40名

参加費 |

3,000円/人

(支部大会の事例・研究発表登録料と同金額)

※各回ミーティング会場までの交通費は実費

※食費は実費

担当事務局【問い合わせ先】

岸孝

(関東支部運営委員 株式会社プレイスメディア)

E-mail: ss.jila.kanto@gmail.com

チューター応募方法は下記造園学会関東支部HPをご覧ください

<https://www.kanto.jila-zouen.org/designws/designws-index.htm>